

平成17年9月15日

企業のリスクマネジメントをサポート

Phoenix Risk Report 「アスベスト（石綿）のリスクと企業の対応」を発表

ニッセイ同和損害保険株式会社（社長：須藤 秀一郎）は、平成17年8月、子会社のフェニックスリスク総合研究株式会社（社長：赤池 輝弘）を通じて企業のリスクマネジメントに役立つ情報提供冊子「Phoenix Risk Report Vol. 05 - 06 『アスベスト（石綿）のリスクと企業の対応』」を作成、顧客への配布を開始しました。

1. 概要

アスベスト（石綿）の危険性は1960年代から指摘されていましたが、今後ますます中央省庁の規制も強化され、あわせて、一般市民による企業責任を問う姿勢も厳しくなっていくものと考えられています。本レポートでは、アスベストの危険性、法的規制、企業の責任および今後の課題として特に重要視すべき解体工事などの際の注意点をまとめています。

2. Phoenix Risk Report について

当社子会社のフェニックスリスク総合研究（株）が作成・発行する企業向けの情報提供冊子です。企業活動を取り巻く様々なリスクについて簡潔にまとめており、リスクマネジメント体制構築に向けた参考資料としてご活用いただける内容となっています。

同レポートは、平成15年度から提供を開始し、今回の「アスベスト（石綿）のリスクと企業の対応」が通算第22号となります。

当社の営業社員を通じて顧客企業に無料で提供している他、フェニックスリスク総合研究（株）でもEメールによる資料請求を受け付けています。（アドレス：kikaku@prs.po-jp.com）